

日本電産は働き方改革も半端ないのか？



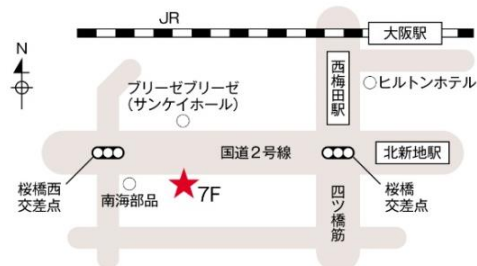
働き方改革。最近、この言葉を聞かない日がありません。

働きすぎが糾弾された広告代理店、仕事の急増に人手が追いつかない宅配業者、寝る暇すらないコンビニオーナー。人手不足の一方で、唐突に現れたプレミアムフライデー。どんどん要求が高くなるサービス品質と働き手の意欲や健康のバランスをいかにとっていくか、多くの企業が腐心しています。

そのような中、モーレツ経営者として知られる日本電産の永守会長が、2020年に残業時間をゼロにする目標を表明しました。働き方改革も中途半端なものでなく、トップダウンの剛腕で進めるあたりが永守さんらしいと言えますが、かけ声だけではなく、生産性向上に向けロボットや情報システムに1000億円もの投資を計画しています。また、業績拡大に向けた人材採用にも積極的です。シャープ出身者も数多く迎え入れ、片山元社長も役員に名を連ねています(次の狙い目は東芝だそうです)。働き方の改革にとどまらず、会社組織そのものを大きく作りかえようという狙いがあるように思います。

当勉強会では、まず総合モーターメーカーである日本電産の事業内容と業績、創業からの沿革を追いかけます。その上で、最近の永守氏のインタビュー記事などから働き方改革のビジョンと取り組みを確認します。カリスマ経営者がたどり着いた働き方改革を踏まえ、私たちと次の世代の働き方について皆さんで議論したいと思います。

日時 2017年4月15日(土)14時～17時30分
(終了後、有志で懇親会を予定しています)
場所 若杉大阪駅前ビル7階会議室
人数 20名
会費 3,000円(税込)
お申込み こちらのサイトからお申込み下さい
<http://www.zeta-consulting.jp/>
主催 ゼータコンサルティング株式会社



桜橋ビジネス勉強会では・・・

➤こんなディスカッションをします

事前の知識は要りません。座長からの情報提供に基づいて、参加者同士で意見交換します
賢い発言は必要ありません。思ったこと・感じたことを素直に語り合います

※座長(情報提供・司会進行): 杉田英樹(ゼータコンサルティング株式会社代表取締役)